

# 23 コーチング研修 I



～メンバーの個性に応じたコーチング～

目的	組織の目標達成に向けて、コーチング技法を習得することにより、部下・後輩に対する指導力と組織力の強化を図り、自ら将来を見据えて自発的に行動できる職員を育成する。
内容	コーチングを実施する上での必要スキルを習得するとともに、部下・後輩職員の個性に応じた具体的なコーチングスキルについて、ロールプレイングを通じて実践的に学ぶ。
実施月日	11月18日(木)～19日(金)
対象者	【市町村職員との合同研修】 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 21名 ・採用2年目～係長級の市町村職員 21名
研修講師 (プロフィール)	株式会社TAS 取締役シニアコンサルタント 高見 千鶴(たかみ ちづる)氏 大学卒業後、法律系出版社にて営業に従事 その後、大手教育研修団体にて研修講師活動に従事 株式会社TAS創研の役員を経て 2006年 株式会社TAS 設立 役員に就任  <所属学会・資格> ・CMC(国際マネジメント・コンサルタント機構認定) 全日本能率連盟認定 マスター・マネジメント・コンサルタント ・日本創造学会会員 ・(財)21世紀職業財団会員  モットー「研修は、楽しく(T)明るく(A)最高の満足(S)を」
昨年度 受講者の声	・感覚的に行っていたことを、研修を受けたことで、今後は意識的に行えるようにしていきたいと感じた。理解と納得ができた。 ・どちらかというところコーチングよりティーチングで、後輩に自分の考えを押し付けてしまっていたことに気づいた。 ・とてもわかりやすく明るい雰囲気での研修で良かった。職場や私生活でも活用できるスキルだと感じた。 ・コーチングの必要性が、よく理解できた。若手が多い職場なので、うまくコーチングしながら良い職場を作っていきたい。

日程表		8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
1 日目	受付	オリエンテーション (グループづくり)	<オリエンテーション> (グループづくり) 1 人を育てるための2つのアプローチ ・ティーチングとコーチング ・コーチングの基本的な考え方と進め方 2 動機づけについて学ぶ ・外発的動機づけと内発的動機づけ	昼食	3 コーチング・スキルを学ぼう ～解説とスキルトレーニング～ ・フィードバックのスキル ・場づくりのスキル ・傾聴と共感のスキル ・存在承認のスキル		
2 日目	受付	<1日目のふり振り返りと復習> 3 コーチング・スキルを学ぼう(つづき) ～解説とスキルトレーニング～ ・問いかけるスキル 4 個性に応じたコーチングを学ぼう ・学習スタイルの理解	昼食	4 個性に応じたコーチングを学ぼう ・コーチングスタイルの理解 5 やってみよう!コーチング ・コーチング実習 ・相互フィードバック ・研修のまとめ	アンケート・閉講		

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。